

平成24年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費	所属	0101012600-0000 教育総務課
事業	大	0134 中学校統廃合等検討経費	(簡略番号：020038)				
	中						
	小						
	細						
事業期間	平成24. 4. 1～平成25. 3. 31		新規・継続	新規	臨・経	臨時	
経費区分	經常的経費		事業の種類	未設定			
補助単独区分		目的区分	教一中学校費				

区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,625	160	2,465	160	156
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	2,625	160	2,465	160	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要・必要性】

平成22年度から中学校統廃合検討委員会を立ち上げ、将来の中学校のあり方を検討している。

平成22年度では、まず子どもたちにとってどのような環境が望ましいかを基本に教育的観点に重点を置いた議論を展開した。その総括は、中学校時代をある一定規模の集団の中でより充実した教科指導、個性を尊重する生徒指導を受けながら、様々な人間との関わり自己実現を図ることが子どもの成長には必要なことであり『統合が望ましい』との意見書(中間)をまとめた。

現在は、平成23年度内に統合の形態を含めた最終の意見書をまとめる予定としている。本事業は統合を見据えた基本設計書の委託料である。

【実施期間】当該年度

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第2次総合計画】次代を担う豊かな人が育つまちづくり（学校教育の充実）

5. 本年度の計画効果

今回中学校を統合する場合、その財源として国庫補助金以外に合併特例債を視野に入れば、遅くとも平成28年4月開校を目指すことになる。

建設場所は今後の検討課題として、場合によっては用地取得の必要性が生じることも想定されるが、統合という一定の方向性が固まれば、その学校の姿を描いた基本設計を基本に具体の建設計画を作成する。

6. 財源の説明

一般財源 2,625千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 原材料費		
02 給料			17 公有財産購入費		
03 職員手当等			18 備品購入費		
04 共済費			19 負担金、補助及び交付金		
05 災害補償費			20 扶助費		
06 恩給及び退職年金			21 貸付金		
07 賃金			22 補償、補填及び賠償金		
08 報償費			23 償還金、利子及び割引料		
09 旅費			24 投資及び出資金		
10 交際費			25 積立金		
11 需用費			26 寄附金		
12 役務費			27 公課費		
13 委託料	2,625	2,625	28 繰出金		
14 使用料及び賃借料			予備費		
15 工事請負費			合計	2,625	2,625

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額		補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部	章	節	細節	実施計画計上額